

令和2年度支部保険者機能強化予算(案)について

1. 支部保険者機能強化予算について
2. 令和2年度 支部保険者機能強化予算の策定にあたって
3. 令和2年度 支部保険者機能強化予算(案) (東京支部)
4. 令和2年度 支部保険者機能強化予算策定のプロセスについて

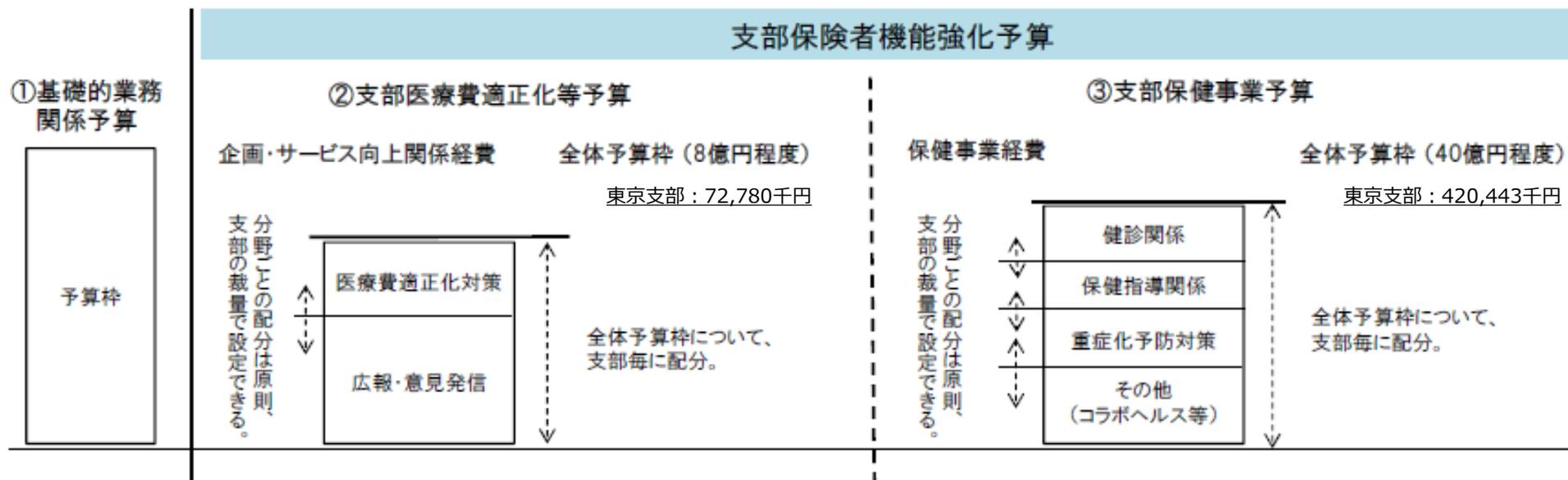
1. 支部保険者機能強化予算について

支部保険者機能強化予算とは

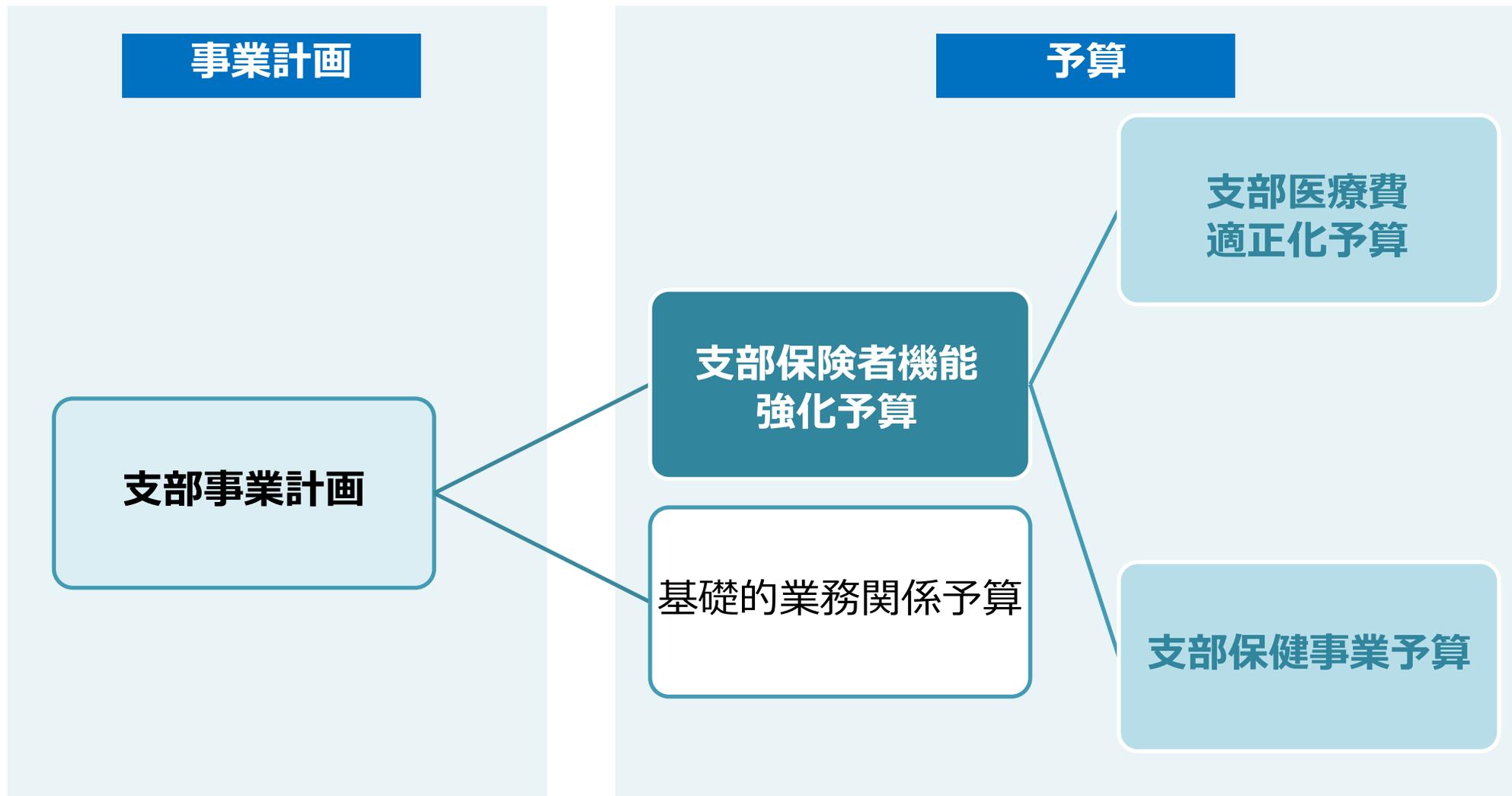
支部保険者機能強化予算とは

中長期的な財政運営という観点も踏まえて、協会けんぽの将来的な医療費の削減につなげていくことを目的に**医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取り組み**を実施する場合に計上する経費のこと。

令和元年度からの予算体系



支部保険者機能強化予算の位置づけ（イメージ）



2. 令和2年度支部保険者機能強化予算の 策定にあたって

令和2年度 支部保険者機能強化予算について

令和元年度

【事業方針】

- 加入者の健康増進、医療費の抑制・適正化

予算区分	主な取り組み
①支部医療費適正化等予算	<ul style="list-style-type: none"> 保険薬局などへのジェネリック医薬品処方割合のお知らせ通知 東京支部の事業内容・事業主への依頼などを掲載したリーフレット送付（全事業所） ラジオ広報番組 ラジオ連動健康情報webサイト など
②支部保健事業予算	<ul style="list-style-type: none"> 40歳到達時の健診受診勧奨 健康企業レポート（2019年度版）の送付 健康ミニセミナー（出張講座）の拡充 オフィスエクササイズ動画コンテンツのDVD作成・送付 など

令和2年度

【事業方針】

- 加入者の健康増進、医療費の抑制・適正化

予算区分	今後の事業の方向性
①支部医療費適正化等予算	<ul style="list-style-type: none"> 事業主や加入者に対する広報の強化 広報や事業活動の電子化の模索・推進 見える化、ナッジを活用した取り組みの実施
②支部保健事業予算	

課題は…



課題を踏まえ…



課題

- ① 増加し続ける医療費
- ② インセンティブ制度の本格導入（保険料率への反映）に向けた広報と啓発
- ③ 協会けんぽの諸活動や医療保険制度の理解度が不十分（紙媒体広報の限界）

取り組みを実施していても、事業主や加入者まで伝わっていない可能性が大きい
⇒**加入者に対する広報の強化が不可欠**

課題①:増加し続ける医療費

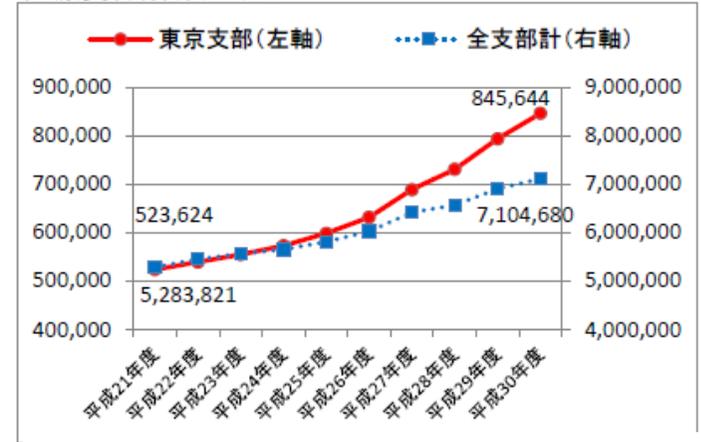
○ 医療費は増加の一途をたどっており、**近年は特に伸びが大きい。**

協会けんぽ加入者の医療費の推移

医療費総額(百万円) ※医療費には療養費なども含む。

	全支部計				東京支部			
	前年度との差	H21年度との差	前年比伸び率	H21比伸び率	前年度との差	H21年度との差	前年比伸び率	H21比伸び率
平成21年度	5,283,821	---	---	---	523,624	---	---	---
平成22年度	5,451,467	167,647	167,647	3.2%	539,123	15,499	15,499	3.0%
平成23年度	5,561,450	109,983	277,630	2.0%	554,100	14,976	30,476	2.8%
平成24年度	5,647,624	86,174	363,803	1.5%	572,577	18,477	48,953	3.3%
平成25年度	5,807,801	160,177	523,980	2.8%	598,274	25,697	74,650	4.5%
平成26年度	6,022,969	215,168	739,148	3.7%	631,271	32,997	107,647	5.5%
平成27年度	6,414,628	391,658	1,130,807	6.5%	688,508	57,237	164,884	9.1%
平成28年度	6,567,166	152,539	1,283,345	2.4%	730,154	41,646	206,530	6.0%
平成29年度	6,896,311	329,145	1,612,490	5.0%	793,334	63,180	269,710	8.7%
平成30年度	7,104,680	208,369	1,820,859	3.0%	845,644	52,310	322,020	6.6%

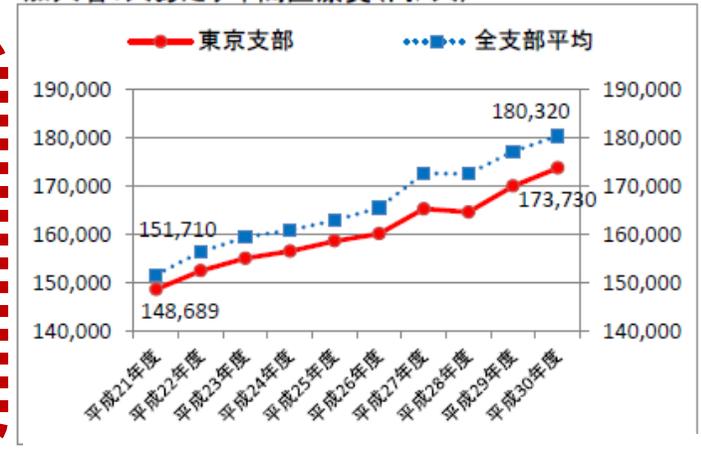
医療費総額(百万円)



加入者1人あたり年間医療費(円/人) ※分母は年度末の加入者数。

	全支部平均				東京支部			
	前年度との差	H21年度との差	前年比伸び率	H21比伸び率	前年度との差	H21年度との差	前年比伸び率	H21比伸び率
平成21年度	151,710	---	---	---	148,689	---	---	---
平成22年度	156,448	4,738	4,738	3.1%	152,533	3,844	3,844	2.6%
平成23年度	159,460	3,012	7,750	1.9%	155,085	2,552	6,396	1.7%
平成24年度	160,885	1,426	9,176	0.9%	156,559	1,474	7,870	1.0%
平成25年度	162,942	2,057	11,232	1.3%	158,662	2,103	9,973	1.3%
平成26年度	165,500	2,558	13,791	1.6%	160,156	1,494	11,467	0.9%
平成27年度	172,599	7,098	20,889	4.3%	165,292	5,136	16,603	3.2%
平成28年度	172,497	▲102	20,781	-0.1%	164,629	▲663	15,940	-0.4%
平成29年度	177,148	4,651	25,438	2.7%	169,986	5,356	21,297	3.3%
平成30年度	180,320	3,172	28,611	1.8%	173,730	3,745	25,042	2.2%

加入者1人あたり年間医療費(円/人)

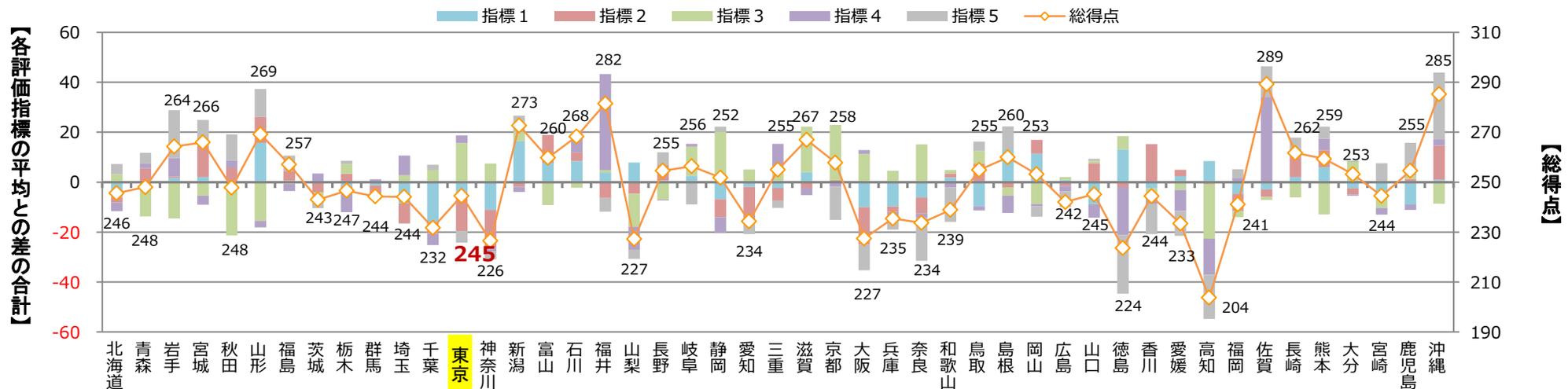


課題②：インセンティブ制度

○ 保険料率のインセンティブ評価指標の総得点が上位過半数ではないため、インセンティブを受けられない。

平成30年度（4月～3月速報値）のデータを用いた実績（速報値）

5つの評価指標の総得点及び各評価指標の全国平均との差

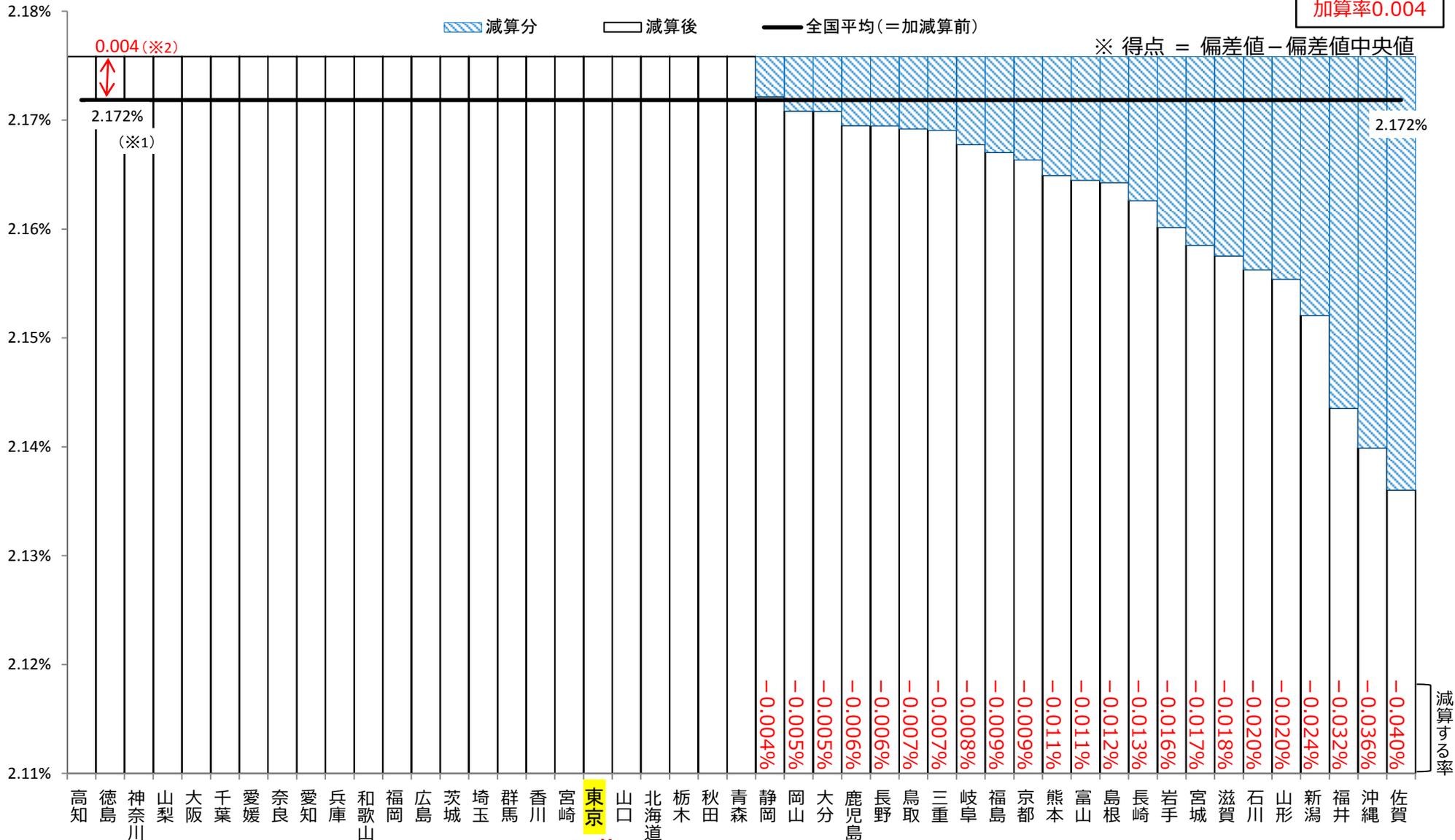


① 特定健診等受診率	35位 (40位)	④ 医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率	9位 (39位)
② 特定保健指導実施率	47位 (43位)	⑤ 後発医薬品使用割合	35位 (37位)
③ 特定保健指導対象者の減少率	4位 (27位)	総得点	29位 (42位)

※ () 内は平成29年度データを用いた順位

平成30年度（4月～3月速報値）のデータを用いた実績（速報値）

【平成30年度（2018年度）実績評価 ⇒ 令和2年度（2020年度）保険料率へ反映した場合の試算】



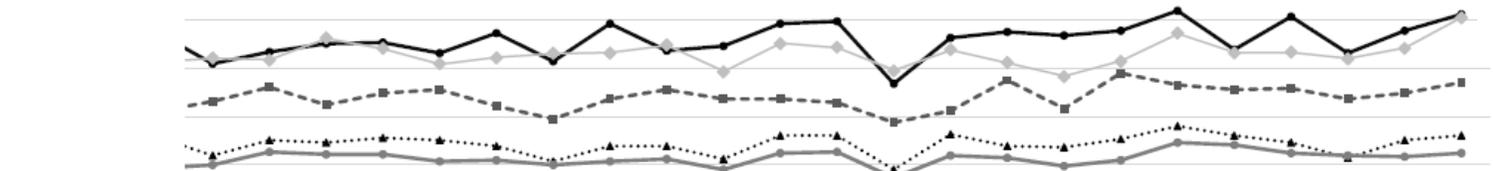
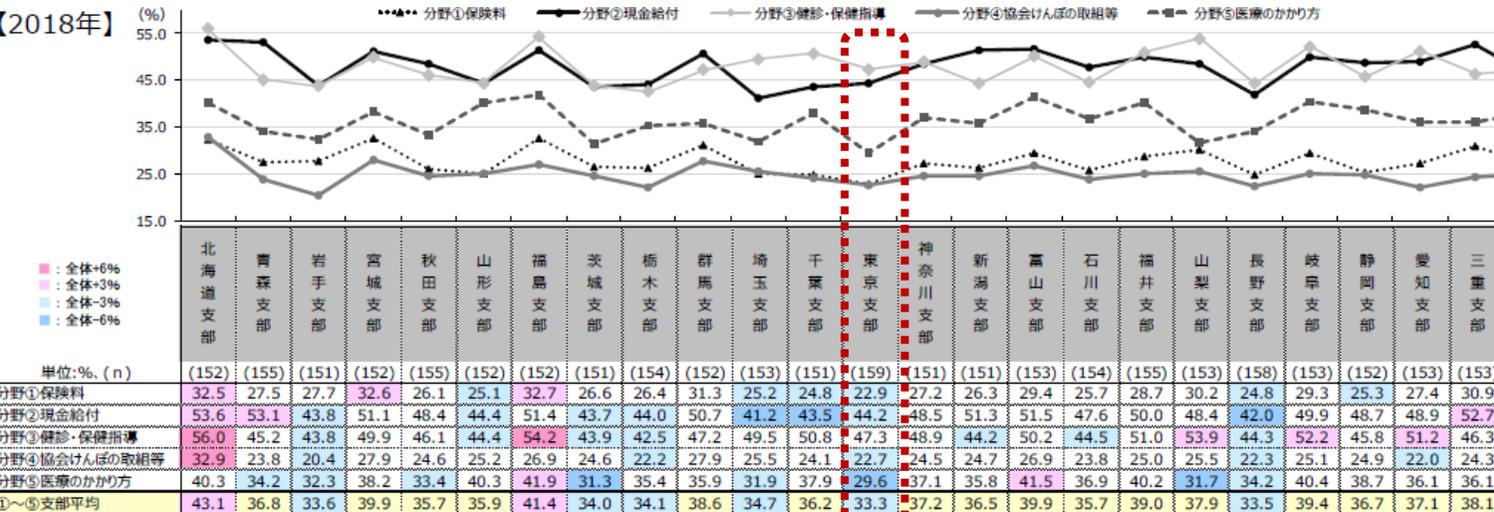
※1 2.172%とは、平成31年度の後期高齢者支援金に係る料率であり、本集計においては当該料率を使用している。

※2 令和2年度（2020年度）保険料率に係るインセンティブの保険料率は、平成30年度（2018年度）総報酬額の実績に0.004%を乗じて令和2年度総報酬額の見込み額を除いて計算する。本集計においては、計算のためのデータがないため、0.004%としている。（詳細は、「平成30年3月20日開催 第91回運営委員会資料 資料3」に掲載。）

課題③：広報理解度調査（支部ごとの認知率）

○ 事業主・加入者の制度や取り組みなどの認知率が、全支部平均よりも低い。

単位：%



分野	滋賀支部	京都支部	大阪支部	兵庫支部	奈良支部	和歌山支部	鳥取支部	島根支部	岡山支部	広島支部	山口支部	徳島支部	香川支部	愛媛支部	高知支部	福岡支部	佐賀支部	長崎支部	熊本支部	大分支部	宮崎支部	鹿児島支部	沖縄支部	全国平均47支部
①保険料率	27.0	30.2	29.7	30.7	30.2	29.0	25.9	29.0	28.9	26.2	31.1	31.2	24.1	31.4	29.1	28.8	30.5	33.2	31.1	29.7	26.5	30.1	31.2	28.5
②現金給付	46.1	48.5	50.2	50.4	48.3	52.4	46.4	54.2	48.8	49.7	54.3	54.8	41.8	51.5	52.7	51.9	52.9	57.1	49.0	55.7	48.1	52.8	56.3	49.5
③健診・保健指導	47.2	46.8	51.3	49.1	46.0	47.3	48.2	48.2	49.9	44.4	50.3	49.4	44.7	48.9	46.2	43.4	46.6	52.3	48.3	48.4	47.0	49.3	55.6	45.9
④協会けんぽの取組等	25.0	27.9	27.2	27.3	25.9	26.1	25.1	25.7	26.3	24.2	27.5	27.8	22.4	26.9	26.6	24.9	26.0	29.7	29.2	27.6	27.0	26.8	27.6	25.7
⑤医療のかかり方	38.3	41.1	37.5	39.9	40.7	37.3	34.5	38.7	40.6	38.8	38.8	37.9	33.9	36.4	42.7	36.7	44.0	41.7	40.7	41.0	38.7	40.0	42.1	37.7
①～⑤支部平均	36.7	38.9	39.2	39.5	38.2	38.4	36.0	39.2	38.9	36.7	40.4	40.2	33.4	39.0	39.5	37.1	40.0	42.8	39.7	40.5	37.5	39.8	42.6	37.5

分野	認知率
①保険料率	22.9 (28.5)
②現金給付	44.2 (49.5)
③健診・保健指導	47.3 (45.9)
④協会けんぽの取組等	22.7 (25.7)
⑤医療のかかり方	29.6 (37.7)
①～⑤の平均	33.3 (37.5)

※ () 内は全支部平均

課題③：広報理解度調査（調査実施概要）

(1)調査対象者		<p>＜調査対象者＞ 協会けんぽの加入者(事業主・被保険者・被扶養者)</p> <p>＜対象者条件＞ 20歳から74歳男女。年代、性別、地域に偏りが無いよう、協会けんぽの加入者構成比に準じてサンプル設計。</p> <p>＜対象者数＞ 有効回収数 7,200サンプル（内 東京支部：159サンプル）</p>	
(2)調査手法		インターネット調査	
(3) 対象項目	分野①保険料	○ 保険料率等に関する認知（7項目） ○ 医療保険の財源や用途等に関する認知（3項目）	計 10項目
	分野②現金給付	○ 現金給付等の認知（6項目）	計 6項目
	分野③健診・保健指導	○ 生活習慣病予防健診・特定健康診査の内容認知（1項目） ○ 協会けんぽの健診に関する内容認知（7項目） ○ 協会けんぽの健診に関する取組認知（3項目）	計 11項目
	分野④ 協会けんぽの取組等	○ 医療保険に関する事柄や協会けんぽの取組認知（18項目） <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー ・健康保険の任意継続 ・コラボヘルス ・第三者行為による傷病届ほか ・医療費通知 ・ジェネリック医薬品 ・インセンティブ制度 	計 18項目
	分野⑤医療のかかり方	○ 医療のかかり方に関する認知（4項目）	計 4項目

3. 令和2年度 支部保険者機能強化予算(案) (東京支部)

令和2年度 支部保険者機能強化予算(案)

支部保険者機能強化予算(総括表)

予算区分		分野	経費	【参考】 令和元年度 経費
支部 保険者 機能 強化 予算	①支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	14,730千円	16,060千円
		広報・意見発信経費	62,595千円	56,720千円
	合計		77,325千円	72,780千円
	②支部保健事業予算 ※東京支部の計上分	保健指導委託経費	320,168千円	※令和2年度から分野の区分に変更があり、単純比較ができないことから、合計額のみ掲載。
		保健指導経費	68,913千円	
		重症化予防事業経費	49,810千円	
		コラボヘルス経費	35,490千円	
		その他の経費	5,076千円	
	合計		479,455千円	420,443千円

⇒令和2年度経費の内訳は14ページへ

⇒令和2年度経費の内訳は15ページへ

※端数整理のため、内訳と合計が整合しない場合があります。

令和2年度 支部医療費適正化等予算

① 支部医療費適正化等予算

分野	区分	事業名	経費	【参考】 令和元年度 経費
医療費 適正化 対策経費	企画部門	保険薬局・医療機関を対象にした「自機関のジェネリック医薬品処方割合のお知らせ」の制作等	8,315千円	16,060千円
	業務部門	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関担当者を対象とした「健康保険医療事務説明会」の開催 ・保険証回収率の低い事業所に対する勧奨文書の送付 ・医療機関への限度額適用認定申請書一体型リーフレットの配布・窓口設置 	6,415千円	-
	小計		14,730千円	16,060千円
広報・意見 発信経費	紙媒体による広報	<ul style="list-style-type: none"> ・月次で都内全加入事業所に送付する納入告知書に同封する広報用チラシ ・東京支部の事業報告・決算などを掲載したリーフレット ・業務・制度周知用の冊子・リーフレット 	28,617千円	23,064千円
	その他の 広報	ラジオ広報番組	24,376千円	24,180千円
		ラジオ連動健康情報webサイト	7,942千円	7,828千円
		各種広報媒体の制作・媒体費、ラジオCM	1,660千円	1,648千円
小計		62,595千円	56,720千円	
合計			77,325千円	72,780千円

令和2年度 支部保健事業予算

② 支部保健事業予算（主な実施事業）

分野	区分	事業名	経費	【参考】 令和元年度 経費
健診経費	集団健診	・東京都内在住被扶養者に対する集団健診	320,168千円	※令和2年度から分野の区分に変更があり、単純比較ができないことから、合計額のみ掲載。
	事業者健診の結果データ取得	・健診機関による委任状取得の委託費・その他事業者健診データの提供に係る経費（勧奨、取得、データ作成等）		
	健診受診勧奨等経費	・新規適用事業所に対する健診案内 ・40歳到達者への生活習慣病予防健診受診勧奨（個人宛直送） ・新規加入被扶養者への受診券送付 ・他県在住被扶養者への集団健診案内 など		
保健指導経費	保健指導利用 勧奨経費	・特定保健指導リーフレット作成 ・特保指導受診に関する架電勧奨委託 など	68,913千円	
重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	・血糖・血圧異常値者に対する受診勧奨	49,810千円	
	重症化予防対策	・糖尿病性腎症の重症化予防対策		
	その他の重症化予防対策	・CKD疑い者に関する受診勧奨		
コラボヘルス経費	コラボヘルス事業	・健康づくり出張講座の外部委託 ・健康企業宣言事業所に対する健康関連ツールの作成 など	35,490千円	
	情報提供ツール	・健康企業レポート作成		
その他の経費	その他の保健事業	・区市との連携広報 ・健診・医療費データ分析結果に基づく健康課題の把握・事業評価・見直し	5,076千円	
合 計			479,455千円	420,443千円

【参考】

**令和2年度 東京支部の取り組み（案）
（抜粋）**

【支部保険者機能強化予算関係】

令和2年度 東京支部の取り組み①

加入者・事業主とコネクする広報誌づくり

■ 広報誌

『支部ツウシン トーキョー』

支部事業運営は、加入者・事業主の理解があつてこそ、その効果が最大限に発揮される。

東京支部では、読みやすく、親しみを感じる誌面を通じ、支部長メッセージや決算概況、インセンティブ制度や健康企業宣言などの的確な情報を伝える広報・PR活動を強化しています。

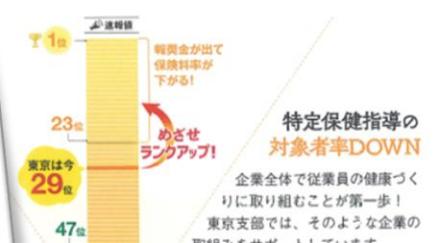
- 令和元年度より新規 (全事業主に発信)
- A4版 12項 (フルカラー)
- 年1回発行 (決算後)



みなさまの取り組みが
保険料率に反映されます!

協会けんぽには、加入者及び事業主のみなさまの取り組みに応じたインセンティブを設け、保険料率に反映させる制度があります。すると、東京支部の総合評価は全国47支部中29位という

保険料率が下がります。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします



ランクアップのために
業主のみなさまに
お願いしたい
5つの
取組み

要治療者の
受診率UP
健診の結果、血圧または血糖値など、「要治療 (再検査)」項目がある方に医療機関を受診するようご案内ください。

ジェネリックの
利用率UP
ジェネリックの切替を推奨し、薬品への切り替えを検討していただく。

未定稿



被保険者への直接のアプローチ

■ 40歳到達時の生活習慣病予防健診の受診勧奨

「ナッジ」を活用した健診のご案内

従来の生活習慣病予防健診勧奨は事業所宛てであり、被保険者への直接のアプローチは行っていなかった。



- 節目年齢（特定健診の開始年齢）である40歳を迎える対象者に直接勧奨DMを送付。
- 勧奨効果を高めるべく、**男性と女性とで異なるデザイン**を採用。

事業主、加入者との“顔が見える関係”の構築

健康づくり出張講座

健康経営に取り組む事業所のサポート

健康経営に取り組むたいが、「自社の健康課題がわからない」、「健康課題に対し、どのような取り組みをしたらかよいかわからない」。

そのような事業者に対し、「食生活改善」、「運動」、「メンタルヘルス対策」などのプログラムを出張して開催。

【参考】令和元年度

- 協会けんぽ東京支部加入事業所が対象（申込制）
- 年/200回開催
- 申込のあった事業所に出張して開催

全国健康保険協会（協会けんぽ）東京支部 委託事業

「健康づくり出張講座」のご案内

～皆さまの健康経営のお役にたてる講座が満載！～

政府等の推進もあり、近年、健康経営®のメリットがクローズアップされるなかで、東京支部が行っている「健康企業宣言®」には多くの企業に参加いただいています。

一方で「健康企業宣言はしたが、自社の健康課題についてどう取り組めばよいか分からない」という声も多く聞かれます。そんな悩みをお持ちの担当者様にぜひおススメしたい出張講座です。

この健康づくり出張講座は協会けんぽ東京支部が（株）ルネサンスに業務委託している事業で、食生活改善・運動・メンタルヘルス対策について正しく楽しく学べるプログラムです。受講したその日から実践できる内容ですので、ぜひこの機会に本講座をご活用ください。

※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。
 ※「健康企業宣言®」は全国健康保険協会の登録商標です。



受講無料
先着200社

開催要項

【開催日時】令和元年**9月17日**（火）～令和2年**3月31日**（火）
 【対象】全国健康保険協会（協会けんぽ）東京支部加入事業所

【開催回数】200回（先着順/予定回数に達し次第、受付終了） 【実施回数】1事業所1回
 【実施場所】申込のあった事業所内 【開催可能日時】平日・土日祝 9:00～21:00の間の60分間

申込～開催までの流れ

①申込 8種類のプログラムから1つ選び、申込書にてお申込ください（申込書は別紙）。	②開催日時決定 申込から1週間以内にご担当者宛にご連絡します。お申込内容を確認の上、日時をお決めします。	③資料の送付 実施2週間前を目安に配布資料やアンケート用紙をお送りします。当日まで保管してください。	④出張講座実施 開始30分前に講師が伺います。講座終了後、アンケートにご協力ください。
---	--	--	---

【申込・問合せ先】株式会社ルネサンス 健康経営推進部 TEL.03-5600-5399 受付時間（平日10:00-17:30）

全国健康保険協会 東京支部
協会けんぽ

4. 令和2年度 支部保険者機能強化予算 策定のプロセスについて

東京支部評議会と支部保険者機能強化予算の関係（今後の協議予定）

